

# 保全活動日記 vol.11

2017年6月4日(日)

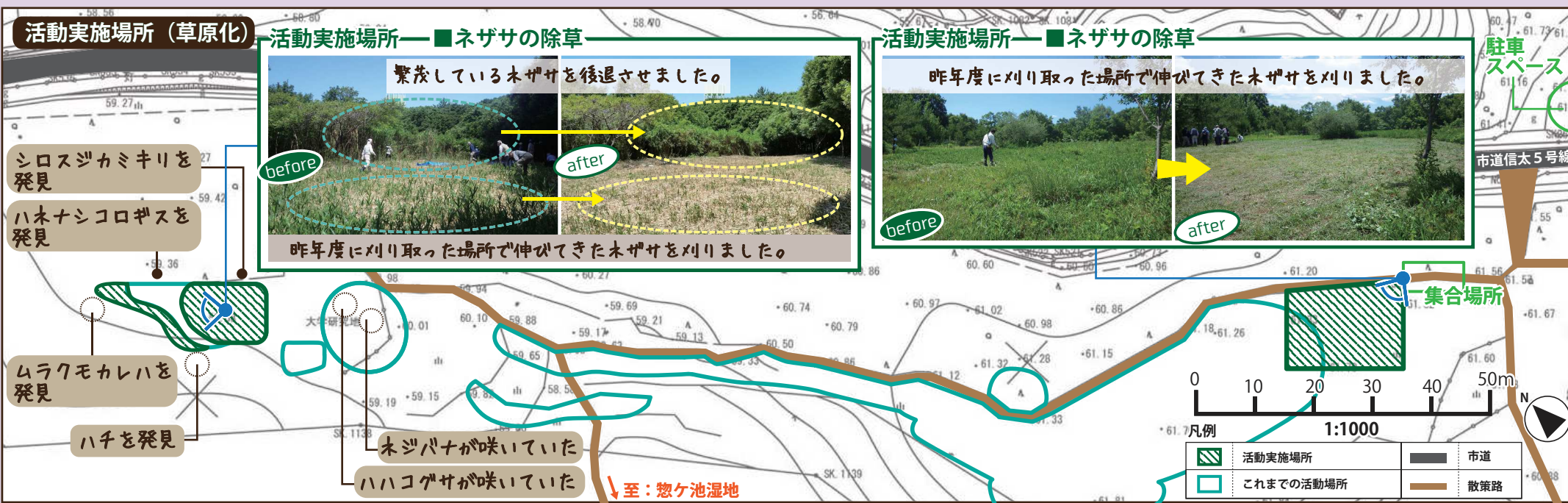


## ● 保全活動実施報告

- 実施日：2017年6月4日(日)
- 時間：9時00分～12時00分
- 天気：晴れ

● 参加人数：34名

● 活動内容：草原化を目指す場所では、西側のネザサの刈り取り作業と、昨年度に刈り取った場所の刈り取りを行いました。また、市内の活動団体「いずみ環境くらぶ」が参加し、ハチクの竹林の間伐作業を行いました。



## ④ 今回の大発見！

### 植物

ネジのように、らせん状に花が付くことから「ネジバナ」と名づけられたそうです。



ネジバナ

茎や葉など、全体にピロート状の白い綿毛に覆われています。



ハハコグサ

湿地性の野生ランであるトキソウが咲いていたそうです。トキソウは乱獲や開発により自生地が激減している貴重な植物です。



トキソウ

### 昆虫

コオロギ類とキリギリス類の中間的形質を持つコロギスの一種です。翅がはね無いことが特徴です。



ハネナシコロギス

黄色い模様が、死ぬと白色になることから「シロスジカミキリ」と名づけられたそうです。



シロスジカミキリ

オスは初夏から夏にかけて水辺や湿った泥に集まり、水を飲むための集団を形成するそうです。



アオスジアゲハ

## ④ ムラクモカレハに注意！

ムラクモカレハの幼虫は毒の棘で覆われているため、棘に触れると腫れてとても痛くなることがあります。アラカシやヌルデの葉の裏によくいるため作業する時は注意が必要です。

## ④ いずみ環境くらぶが活動に参加しました！



市民と事業者等で構成される「いずみ環境くらぶ」が保全活動に参加しました。普段は、地球温暖化問題への取組や、里山保全の活動、清掃活動などに取り組んでいるそうです。活動の一環で市内の竹林整備を行っており、今回は信太山丘陵市有地のハチクの間伐作業に参加しました。

市民と事業者等で構成される「いずみ環境くらぶ」が保全活動に参加しました。普段は、地球温暖化問題への取組や、里山保全の活動、清掃活動などに取り組んでいるそうです。活動の一環で市内の竹林整備を行っており、今回は信太山丘陵市有地のハチクの間伐作業に参加しました。

### 活動に参加した感想／

信太山にこんなに竹が蔓延はびこっているとは知りませんでした。またクラブで日を合わせて参加したいです。



## ④ 活動後のふりかえり

活動の感想や今後の意見が挙がりました。



南西側草原エリアで、木ザサを刈る際に正面より側面の方から刈ると作業しやすい。次回は木ザサの側面の森を少し切り開き、側面から刈る場所を設けると作業が効率的になると思う。

ハチクの間伐について、まだ作業が残っているので引き続きやっていこうと思う。

## ④ カスミサンショウウオの成長

前回5月14日の保全活動でカスミサンショウウオのオタマジャクシを放流しました。その後、6月4日時点でカスミサンショウウオは5cm程度に成長しています。

